

## (14) 防災・安全教育研究会

会長 北代 大 (竹島小)  
副会長 武田 博文 (大用中)  
事務局 福田 稔 (八束中)

1. 研究主題 「僕も君も助かる、実践的防災・安全教育」

### 2. 研究課程

| 実施年月日   | 研究のあらまし  | 会場   | 備考        |
|---------|--|--|-----------|
| 5月6日(木) | 四万十市教育研究会 組織総会<br>内容：役員選出 研究主題設定 年間計画作成  | 中村南小学校   |           |
| 8月6日(金) | 夏季研修会 防災施設見学・講話<br><br>・「防災施設見学」<br>講師：有光 浩 (四万十市地震防災課)<br>・講話「大雨災害に関する防災教育」<br>講師：新川 和之 (国土交通省四国地方整備局防災室) | 防災施設見学<br>下田地区防災活動拠点<br>施設 (下田中)<br>下田水戸地区東・山路地<br>区津波避難タワー<br>講話<br>竹島小 | 22名<br>参加 |

### 3. 夏季研修会

【日時】 令和3年8月6日(金) 8:45～11:40

【会場】 防災施設見学  
下田地区防災活動拠点 (下田中)、下田水戸地区東・山路地区津波避難タワー  
講話  
竹島小 (感染症予防のため講師はリモートでの参加)

【日程】 開会行事 (8:45～9:00)  
防災施設見学 (9:00～10:20)  
講話 (10:30～11:30)  
閉会行事 (11:30～11:40)

### 4. 研修内容

今年度の夏季研修会は、5月6日の年間計画作成についての話し合いで出された「防災施設の見学」と、ここ数年での研修で「大雨に対する防災教育」がなかったので、この2点について研修することになった。

#### (1) 防災施設見学

講師：有光 浩 (四万十市地震防災課)

##### ① 下田地区防災拠点施設

下田地区内の主要避難所となる下田中学校を拠点とし、応急復旧活動の拠点としての整備、近隣地区からの想定避難者約1,000人、近隣施設(とまろっと、いやしの里)を含めての対応を想定。



参加者を4～5名のグループに分け、避難所で使用するテントをほぼ予備知識なしで設置。全グループが数分で設置することができた。このテントはプライバシーの保護だけでなく、コロナ感染対策にもなる。他にも貯水槽、自家発電設備、浄水装置等の説明を受けた。

#### ②下田水戸地区東津波タワー

高さ15.9m、収容人数120人、備蓄倉庫に簡易トイレ、食料、水、シート、ロープを備蓄。この地点での津波到達時間約17分、浸水高7mの想定。

#### ③山路地区津波避難タワー

近接する老人福祉施設入所者の避難を考慮し階段に加えて、手巻き式ゴンドラを整備。高さ10m、ゴンドラ収容人数5～7人、10mの巻き上げ時間1～2分。実際に5・6人を乗せ、ゴンドラを使って上昇させたが、不安にさせる振動もなく10mを上昇できた。

この地点での津波到達時間約36分、浸水高4mの想定。



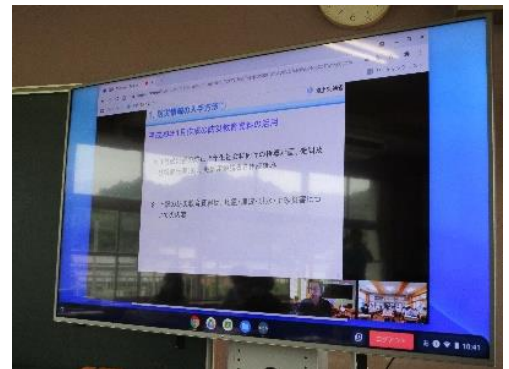
## (2) 講話 「大雨災害に対する防災教育」

講師：新川 和之（国土交通省四国地方整備局 防災室）

### 防災情報の入手方法

#### ①国土交通省HP

- ・「H29年1月作成の防災教育資料、小学5年生向け指導計画（案）  
板書計画（案）・教師用解説」  
内容は地震・津波・洪水・土砂災害。
- ・「自然災害の脅威」災害種別毎に動画・CG・シミュレーションがある。
- ・「国土の防災ライブラリー」子ども向け動画「洪水から身を守るには」、防災カードゲーム「このつぎになにがおきるかな？」
- ・「重ねるハザードマップ」任意の場所の津波、土砂災害、洪水のハザードマップを重ねてみるができる。



### 土砂災害とは

土砂が移動し、人命・財産に被害をもたらす現象。土砂を移動させる力が、抵抗力を上回り発生。

#### ①がけ崩れ

崖や急な斜面が、降雨や地震のため急激に崩れる現象。突然起こるため人家の近くで起きると逃げ遅れ、死者の割合も高い。

※前兆現象……崖に割れ目、水が湧き出る、小石が落ちてくる。

#### ②土石流

山腹、川底の石や土砂が大雨や集中豪雨などで一気に下流へ押し流される現象。

時速20km～40kmで一瞬のうちに人家や畑を壊滅させる。

※前兆現象……川の流れが急に濁り流木が混ざる。山鳴り。雨が降っているのに水位が下がる。

### ③地すべり

斜面の一部や全部が、地下水の影響と重力でゆっくり斜面下方へ移動する現象。

移動する土塊量が多いため、甚大な被害が発生し、動き出すと停止させることは非常に困難。

※前兆現象……沢や井戸の水が濁る。地面にひび割れができる。斜面から水が噴き出す。

### ④河道閉塞による湛水（天然ダム）

地すべりや急激な土砂移動により河道が閉塞され、川の水がせき止められ湛水湖ができる現象。

天然ダム上流の浸水被害や、決壊による大規模な土石流の発生のおそれ。

## 四万十川の河川整備

- ・洪水を安全に流すための対策

四万十川 3.9 km

- ・パイピング、法すべりによる漏水（浸透）対策

パイピング 具同入田 1 km

浸透対策 具同入田 1 km、井沢 0.4 km

- ・堤防整備、河道掘削による流下能力不足対策

具同入田 1.2 km、古津賀 0.4 km、下田 1.2 km、初崎 0.4 km、井沢 0.5 km

## 5. 参加者の感想（一部抜粋）

- ・現地での視察学習、実際に避難時に使うもの等を見せていただいた貴重な機会となりました。子どもたちと地域の方々が一緒に訓練を行っているという取り組みを聞き、頼もしく感じました。
- ・自分の住んでいる地区、勤務地にはどのような施設があるのか、知っておくことが命を守る糧となるので防災に関する情報には常に注意をしておきたいと改めて思いました。
- ・ICT教育を進めていく中で、講演で教えてもらったサイトは子どもたち自身で調べて活用することができるなど感じました。
- ・非常用のテントを作らせてもらいましたが、説明書などがなくても、あっという間に出来上がらせることができ驚きました。子どもたちだけでもすごく簡単にできると思ったので、避難訓練で体験させてあげたいと思いました。
- ・いつ起きるかわからない災害に備えて、私たちは知識だけでなく実際に動けるようにすることと、子どもたちへの意識付け、防災学習をしっかりしていきたいと改めて思いました。
- ・土砂災害は常にその危険があるので津波と比べるとより身近な危険といえるので、ハザードマップ等を活用して今後の指導に生かしたいと思いました。
- ・実際に足を運んで学ぶことで、現地の状況や生活に合わせて対策が取られていることを学習することができました。大雨による災害では役立つ情報コンテンツを教えていただき子どもたちにも情報提供し、命を守れる力をつけていきたいと思います。
- ・実際に見学することで、施設にどんなものがあり、どのように活用するかが分かり大変参考になりました。また国土交通省には詳しいデータがあり、それを活用することで知識も深まりました。とてもよい研修会になりました。ありがとうございました。

